

デザインサーベイの進め方（新風館・京都駅ビル）

新風館と京都駅ビルのデザインサーベイを行います。デザインサーベイに関する宿題はありませんが、実習の最後にスケッチブックを点検します。デザインサーベイを振り返って、コンセプトづくりやコンセプトの空間化へのヒントとしましょう。

スケジュール

13時30分～14時20分	新風館 (徒歩および地下鉄で移動。烏丸御池-京都 (210 円))
14時40分～15時30分	JR 京都駅
15時30分～16時00分	スケッチブックの点検 (その場で返却します)
16時00分	現地解散

各空間事例の概要

新風館 NTT FACILITIES + Richard Rogers Partnership 2001 年

三条烏丸に建つ新風館は、昭和初期に逓信省の建築家である吉田鉄郎氏による設計で、京都中央電話局として建設された建物。その建物は外装タイルの割付に変化を持たせた繊細なデザインが特徴で、煉瓦の積み方は北ドイツの表現主義の影響と考えられる。電話局時代はL字型の建物であったが、既存の建物にコの字型の建物を付け加え、2001年に新風館として新たなスタートをきった。3階建の建物は、現在、洋服店、レストランやカフェに加えて、中庭を利用してイベントを行えるスペースを兼ね備えた商業施設となっている。¹⁾

JR 京都駅ビル 原広司/アトリエ・ファイ建築研究所 1997 年

機能上の要請をクリアしつつ、都市景観にどのように配慮するかが問われたコンペで選ばれた。当初の構想にあった段丘状に展開する地形的空間構成は部分的に変更されたが、各遊歩道や広場など、人々に開かれた内部空間の豊かさは都市中心部に位置する駅舎では稀有のものである。門の形象化として北側に開かれたコンコースの開口部分を始めとして、数々の視覚的仕掛けがこの建築の姿をより多様なものとしている。²⁾

各空間事例で調査すること

新風館

以下は、Richard Rogers の public domain (公共の領域) に関する文章である。

Public space between buildings influences both the built form and the civic quality of the city, be they streets, squares or parks. A balance between the public and private domain is central to the practice's design approach. Buildings and their surrounding spaces should interrelate and define one another, with external spaces functioning as rooms without roofs.³⁾

1) 本空間事例で、「屋根のない部屋」として機能している屋外空間はどこにあるだろうか？なぜ「屋根のない部屋」のように感じるのだろうか？図解してみよう。

2) 新風館の空間を public と private という観点から分析してみよう。public domain とはすべての人に開かれた公共の領域、private domain とは一部の人が利用する私的な領域のことである。デザイン上の工夫によって、公共の領域の中に、やや私的な雰囲気領域が生まれて

いる空間はあるだろうか？その空間はどのようなデザインにより実現されているだろうか？
図解してみよう。

3) 公共の領域の中にやや私的な領域を作ることは、休憩スペースのデザインにどのように役立つだろうか？

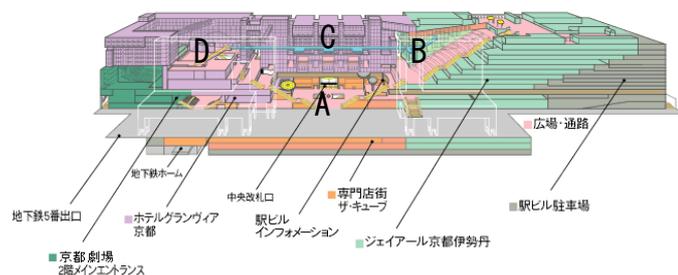
JR 京都駅ビル

1) 設計コンセプトである「谷の地形」は、どのような効果を生み出しているだろうか？

2) コンコースを上から眺め、人の流れ（動線）を記録してみよう。動線計画上、工夫されている点はあるだろうか？何か問題はあるだろうか？

3) 次の場所を訪れ、もっとも気に入った空間をスケッチし（各場所で最低1つ）、気に入った理由を書き込もう。

- (A) コンコース
- (B) 大階段
- (C) 空中径路（渡り廊下）
- (D) コンコース東側の広場



4) 通行の邪魔にならない場所で、階段の蹴上げと踏み面の寸法を測定し、歩きやすいかどうかを確かめてみよう。これまでの事例と比較し、歩きやすさに関して違いはあるだろうか？

引用文献

- 1) http://www.kcif.or.jp/en/newsletter/lik/archives/0501/01_2005.jp.htm
- 2) ギャラリー・間 (1998) 建築 MAP 京都. TOTO 出版, p. 27.
- 3) <http://www.richardrogers.co.uk>